**９月の研修会**

一般社団法人香川県歯科衛生士会

＊日　時　　平成２５年９月１日（日）

受　付　　９：３０～

研修会　１０：００～１３：００

＊場　所　　香川県歯科医療専門学校　７Ｆ　8020ホール

＊講　師　　津田　志麻歯科衛生士（フリーランス）

＊内　容　　「歯周治療に携わる歯科衛生士の力」

　　　　　　　　「患者さんの歯ブラシをコーディネートしよう！」

＊受講料　　香川県歯科衛生士会会員　…　無料

会員外　…　５０００円

＊申込み　　①お名前　②職種　③連絡先を記入の上、ＦＡＸ（０８７－８８７－１６４１）にてお申し込み下さい。　締切は８月２５日（日）です

**〈抄録〉**

近年、成人の80％以上が歯周疾患に罹患しているといわれ、メディアでもほとんど毎日のように歯周病が話題となっています。

歯科治療においても、歯周治療とその予防へと治療内容が急速にシフトし、歯科衛生士の活躍の場は広まり、重要となっています。

しかし、歯周治療は平坦ではなく特に歯肉縁下のSRPはその実態はなかなか見えるものではなく、日々苦慮されている歯科衛生士さんも多いと思います。

また、技術だけでなく患者さん自身の状態を把握しなければ、良い結果が得られないと考えています。私自身も悩み、経験したこと、またどのように歯周治療に携わっているか、お話ししたいと思います。

　患者さんができる予防アイテムとしての「歯ブラシ」ですが、歯科衛生士は「歯ブラシ」よりも方法論にこだわってしまうと思います。

でも実は患者さんは自分にどんな歯ブラシが合っているのか、知りたがっています。プラークの取り方を考える前に何故そこにプラークが残っているのか、何故そのようなプラークが付いているのかを考えることが大切です。その口腔内環境にあった歯ブラシを提案することが必要です。

　しかしながら実際、患者さんの口腔内をみて何に着目してよいのかわからず、歯ブラシ選びに悩むことと思います。そこで、患者さんの口腔内環境にあわせて歯ブラシを提案し、提供できるガイドラインとしてできた「歯ブラシカルテ」についてお話ししたいと思います。